

JACLaP WIRE No.71 (2004年6月2日発刊)

\*\*\*\*\*

本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.71 です。

\*\*\*\*\*

===== 目次 =====

【お知らせ】

- 【1】 会員動向 (2004年5月25日現在数 677名, 専門医 464名)
- 【2】 平成16年度会費納入について
- 【3】 日本臨床検査専門医会振興会セミナーについて
- 【4】 第56回日本臨床検査専門医会教育セミナーの報告
- 【5】 第3回日本臨床検査専門医会常任幹事会開催のお知らせ
- 【6】 第1回GLM教育セミナーの終了
- 【Q & A】 クレアチニンクリアランス
- 【最新トピックス】
  - 【1】 PETで癌の早期発見
- 【MTJ (The Medical & Test Journal)】
  - 【4月21日号から】
  - 【5月1日号から】
  - 【5月11日号から】

-----

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-1】

会員動向 (2004年5月25日現在数 677名, 専門医 464名)

新入会員

- 藤川 潤 先生：北野病院臨床検査部
- 小柴賢洋 先生：神戸大学大学院医学系研究科生体情報講座
- 川杉和夫 先生：帝京大学医学部内科
- 小林雅子 先生：金沢市立病院臨床検査室
- 大西明弘 先生：東京慈恵医科大学付属第三病院中央検査部
- 安原 努 先生：昭和大学医学部臨床病理
- 吉賀正亨 先生：関西医科大学臨床検査医学

所属変更

- 福本誠二 先生： 旧 東京大学医学部付属病院検査部

	新	東京大学医学部附属病院腎臓・内分泌内科
中村正夫 先生：	旧	(財)東京顕微鏡院
	新	日本赤十字社医療センター検査部
岩崎泰正 先生：	旧	名古屋大学医学部附属病院検査部
	新	高知大学医学部 内分泌代謝・腎臓内科学講座
谷山清巳 先生：	旧	国立病院呉医療センター臨床検査科
	新	独立行政法人国立病院機構呉医療センター臨床検査科
松野一彦 先生：	旧	北海道大学医療技術短期大学医学部衛生技術学科
	新	北海道大学医学部保健学科
和田久泰 先生：	旧	岐阜大学医学部臨床検査医学講座
	新	岐阜大学大学院医学研究科病態情報解析医学
宮地勇人 先生：	旧	東海大学医学部臨床検査医学 助教授
	新	東海大学医学部臨床検査医学 教授
梅田 遵 先生：	旧	群馬大学医学部臨床検査医学教室
	新	利根中央病院 内科
芳賀孝之 先生：	旧	国立療養所東埼玉病院
	新	独立行政法人国立病院機構 東埼玉病院

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-2】平成16年度会費納入について

未納の先生方は本年度会費のお支払いをお願いいたします。

なお、本年度からは住所、氏名を入れてお届けしています。

所属、住所、その他の変更がございましたら振り込み時に通信欄にご記入ください。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-3】日本臨床検査専門医会振興会セミナーについて

以下のように開催を予定しています。振興会会員の皆様だけでなく会員の皆様の多数のご出席を希望いたします。なお、振興会会員の皆様方には近日中に参加申込書をお届けいたします。参加希望人数とともに添付のFAX用紙で事務局までお届けいただく予定です。よろしくをお願いいたします。

平成16年度日本臨床検査専門医会・第22回 日本臨床検査専門医会振興会セミナー

日時：平成16年7月16日(金曜日) 午後2時～5時

会場：東京ガーデンパレス(JR、地下鉄お茶の水、電話：03-3813-6211)

題名：包括医療（DPC）施行後の現状と将来展望－これからどうなるDPC－

- 1) 国立大学病院の立場から  
防衛医科大学校 玉井 誠一 教授
- 2) 私立大学病院の立場から  
帝京大学医学部 宮澤 幸久 教授
- 3) 一般病院の立場で今後どのように対応するか  
亀田総合病院 病理部 小久保 武 部長
- 4) 厚生労働省の立場から  
保険局医療課 桑島 昭文 筆頭補佐官（中村 健二 企画官から変更予定）

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-4】第56回日本臨床検査専門医会教育セミナーの報告

2004年5月16日に昭和大学医学部の高木康教授の担当で以下のように行われた。

参加者：34名

- 1) 佐守友博：日本医学臨床研究所総括所長  
衛生検査所の管理運営、指導監督医の責務について、法律も含めて解説された。
- 2) 三宅一徳：順天堂大学臨床病理 講師  
検査の感度、特異度、尤度比について。臨床検査の臨床的有用性の評価方法について解説した。Evidenceに基づいた検査結果の利用方法。
- 3) 伊藤機一：神奈川県立保健福祉大学 教授  
尿検査について、特に尿検査試験紙の標準化について現在までの経緯などを解説した。
- 4) 木村 聡：昭和大学臨床病理 講師  
臨床検査の精度管理について。検査のピットホールの実例提示と対策について解説した。
- 5) 高木 康：昭和大学医学部 教授  
臨床検査専門医試験受験に際して。注意点、傾向と対策について解説した。

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-5】第3回日本臨床検査専門医会常任幹事会開催のお知らせ

開催日時：2004年6月4日 午後3時～5時

場 所：日本臨床検査医学会事務所

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ6】第1回GLM教育セミナーの終了

第1回 GLM 教育セミナーが教育研修委員長の玉井誠一先生の司会のもとに、「検査部のマネジメント改革 - 理論と実際の取組み - 」というテーマで2004年5月23日(日)9:00~17:10 に全社連研修センターで開催された。財政マネジメント、組織マネジメント、リスクマネジメントについて、それぞれ日本大学商学部の高橋淑郎教授、西山病院管理研究所の西山信之所長、厚生労働省医政局国立病院課の平野信博 訟務専門官から専門家の立場として講演された。また、病院における実際の取組みについて、杏林大学病院臨床検査部の渡邊卓教授、天理よろづ相談所病院臨床病理部の松尾収二部長、帝京大学溝口病院臨床病理部・臨床検査部の水口國雄教授より報告があり、活発なディスカッションがかわされた。「ISO15189 の今後の展開」についての特別講演が国際臨床病理センターの河合忠所長により行われた。参加者は29名であった。

(会長 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

#### 【Q & A】クレアチンクリアランス

(Q) 腎機能を評価する際にクレアチンクリアランスを用いますが、神経筋疾患などの患者では実際に評価しにくいと思われます。beta-2 ミクログロブリンを用いた腎機能評価法もあると聞いたことがあるのですが、実際に神経筋疾患の患者の腎機能を把握する方法を教えてください。また、その方法がクレアチンクリアランスへ換算できるかも含めて教えてください(熊本県 医師)。

(A) 御存知のようにCrによるGFRの評価は、神経・筋疾患、高度の肝機能障害などでは腎前性の低下により、困難となります。そこで、御質問のように血清beta-2m値をGFR(Crクリアランス)に換算する方法が考えられます。私共の過去のデータではbeta-2mは、Cr clearance 60 l/day位から上昇が見られます。英語の論文ですが、御参考下さい。和文では、下条文武先生からの文献を調べて下さい。

beta-2mは、炎症(ウイルス・細菌感染症)、膠原病、悪性腫瘍などで腎前性に増加する疾患が合併していると評価が出来なくなります。この意味から最も信頼性の高いマーカーは、保険に収載されていませんが、血清シスタチンCです。Crと異なり優れている点は、全身の臓器、細胞から産生され、1歳から50歳まで基準値が1ug/lと一定で、腎前性の影響を受けません。日本人のデータはまだ出ていませんが、最近GFRの換算式(iohexol)の論文がいくつか出されており、これを参考にフォローされてはいかがでしょうか(Scand J ClinLab Invest 2004;64:25-30)。測定は苫小牧臨床の伊藤さん(ito@tcl.ne.jp、私の共同開発者)あるいはSRLなどでも既に導入しており、尋ねて見て下さい。

[2004年5月24日 旭川医科大学臨床検査医学教授 伊藤喜久(認定番号172)]

===== JACLaP WIRE =====

## 【最新トピックス - 1】PET で癌の早期発見

画像診断の進歩はめざましいが、近年、PET(ポジトロン断層撮影)の検査が話題になっている。PET 検査は、数ミリの微小癌を発見し、良性、悪性の鑑別から、手術後の転移・再発、病期の判定などもできる新しい検査法で、手術範囲や癌の治療法の決定に有用である。1975年に米国で開発され、93年以降に実用機が登場した。無症状の健診受診者に対し、PETで検査すると早期癌の発見率が従来の人間ドックに比べて、100倍以上あがるという報告もある。日本では現在、約70施設で稼働中であるが、PETは工事費込みの価格が1台12億～15億円と高額なので、それ程普及していない。

平成16年現在、健康保険が適用できるPET検査は、150標識ガス剤を用いた場合(7000点)と18FDGを用いた場合(7500点)の2種類である。18FDGを用いた場合には、悪性腫瘍(脳腫瘍、頭頸部癌、肺癌、乳癌、膵癌、転移性肝癌、大腸癌、悪性リンパ腫、悪性黒色腫、原発不明癌)、てんかん、虚血性心疾患などの診断を目的とした時に保険適用となるが、癌の健康診断では自費となる。わが国では、PETを用いた癌検診は費用が高く、待機時間が長いので、韓国ソウル市のサムソンメディカルセンターでまで足を延ばす人が増えているようだ。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【MTJ (The Medical & Test Journal) 4月21日号から】

## 鹿児島大病院 DPC：調整係数加算が増収に連動しない診断群分類も

4月にDPC導入してから2年目に入った鹿児島大学病院(660床：田中信行病院長)の宇都由美子氏(保健学科助教授・医療情報部副部長)は、本紙の取材に対して、今回のDPC見直しをうけ、官報告示された医療機関別の調整係数が引き上げられたことが必ずしも収入増には結びつかない診断群もでてきており、「係数加算によって収入増を過信をすることなく、医療の効率的提供と質的確保に対して弛まぬ経営努力が不可欠だ」と指摘した。

## 臨床検査専門医会春季大会 臨床検査のコストなどデータ把握が重要

日本臨床検査専門医会春季大会(小出典男大会長)が4月10日、岡山市で開かれた。包括医療における臨床検査のあり方に関する議論では、DPC評価に対応していくため病院内の臨床検査にかかわるコストや検査判断料における検査医の技術料としての適正配分の把握のほか、包括範囲になった検体検査管理加算を従来の検査点数枠から指導料枠に再編する必要性などが指摘された。

「健康食品管理士認定協会」が5月早々にも設立へ

健康食品を取り扱う的確な知識をもち、問題进行处理できる人材育成を行う「健康食品管理士認定協会」が、5月初めに立ち上がる方針が決まった。4月15日、臨床検査関連教育機関を対象に健康食品管理士認定に関する説明会が行われ、全国臨床検査技師教育施設協議会などを中心に検討してきた同認定協会の設立が報告された。

臨床検査技師国試、合格率79%に

厚生労働省は4月9日、3月上旬に実施した第50回臨床検査技師国家試験、第56回診療放射線技師国家試験の合格者を発表した。臨床検査技師国試は、受験者4931人に対し合格者3894人で合格率は79.0%。前回に比べて22.8ポイントの大幅上昇となった。

タミフル服用の小児 約3割に耐性ウイルス

第78回日本感染症学会総会学術講演会が4月6、7の両日、都内で開かれた。シンポジウム「SARSとインフルエンザ」では、アマンタジンに比べ薬剤耐性に優れるとみられていたノイラミニダーゼ阻害薬（今回の検討はタミフル）が、小児患者の約3割から耐性ウイルスが発見されたことが報告された。

04年度の小島三郎賞、福見秀雄賞の受賞者が決定

黒住医学研究振興財団はこのほど、2004年度第39回「小島三郎記念技術賞」、第23回「福見秀雄賞」の各受賞者を決定したと発表した。小島三郎記念技術賞には、大阪大医学部附属病院臨床検査部・主任臨床検査技師の兜森修氏ら5人が、福見秀雄賞には、化学及血清療法研究所試薬・臨床検査部部長の梅橋豊蔵氏ら5人が、それぞれ受賞した。

米GE社 英国アマシャム社の買収を完了

米国ゼネラル・エレクトリック社（GE）は現地時間4月8日、英国アマシャム社の全発行済み株式を取得し、買収を完了したと発表した。これによりGEの医療事業部門の名称は、従来の「GEメディカルシステム」から「GE Healthcare」に変わる。

## 順天堂大学浦安病院 新病棟を開設し女性医療を充実

順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院（猪狩淳院長）は、新病棟を建設、4月12日にオープンした。救急救命医療をより充実、3次医療に対応した集中治療室（ICU、CCUを8床）設置、さらに血液浄化センター（15床）を設け、人工透析のみならず血漿交換も可能にした。一般病床には女性専用の病棟（47床）を設け、女性クリニックからの入院患者のほか、診療各科からの入院を受け入れる。

## 【MTJ（The Medical & Test Journal）5月1日号から】

### 山形大病院臨床検査部 NSTに参加、栄養アセスメント情報を提供へ

山形大学医学部附属病院臨床検査部は、NST（栄養管理サポートチーム）に参画し、MRSA・緑膿菌保菌者情報とともに低栄養者情報を提供していく方針を決めた。栄養アセスメントに有用なレチノール結合蛋白、トランスサイレチンの測定をルーチン化し、その結果を栄養改善指導に活用するよう働きかけていく考え。

### 4～7月のDPC試行、51病院の調整係数告示

厚生労働省は4月23日、7月までにDPC試行を実施する病院名および調整係数を官報告示した。4月試行組の4病院を含め51病院がDPC試行病院として告示された。厚生労働省保険局医療課は、「DPC試行は、今回告示したDPC試行病院（51病院）がすべてではない。現在、係数について調整を進めている施設もあり、追って告示を行うことになる」と述べた。

### 参院厚労委 結核予防法一部改正案を全会一致で可決

参院厚生労働委員会は4月22日、結核対策の効率化や重点化を目的とした「結核予防法一部改正案」を全会一致で可決した。同法案の主な内容は、予防接種の要否判定のために実施していたツベルクリン反応検査を廃止し、BCGを直接接種できるようにする。また、結核の予防や早期発見に向けて、高齢者など発病しやすい人や医療従事者など2次感染を起こしやすい人に健康診断を重点的に実施する体制を整える。施行期日は2005年4月1日。

### 厚労省 医師国試合格率は88.4%

厚生労働省は4月22日、第98回医師国家試験の合格者を発表した。3月20日から3日間実施された試験は8439人が受験、このうち7457人が合格した。合格率は88.4%と前回に比べ、1.9ポイント低下、4年ぶりに90%台を割り込んだ。女性合格者の割合は33.8%で3割を超えたのは5年連続となった。

2003年度臨床検査薬・クレコンレポート 検査薬の出荷額は2791億円

2003年度の臨床検査薬の市場末端規模（卸体外診断薬販売額＋R I協会取扱額＋直販額）は3184億円（体内診断薬のX線造影剤1098億円除く）、メーカーおよび販売元出荷額は2791億円だった。前年度調査のメーカーおよび販売元出荷額2816億円を約0.9%下回った。2791億円のうち80.0%は卸経由、18.4%がR I協会経由、1.6%が直販方式で、それぞれ末端市場に供給されている。これは、クレコンリサーチ&コンサルティングが1次卸、医療機関などを対象に実施した2002年4月～2003年3月の臨床検査薬流通調査の結果をまとめたもの。

シスメックス 自動血球分析装置の校正状況を証明

シスメックスは4月20日、同社製自動血球分析装置の校正状況を証明する新サービス「SCSパック」を国内で開始した。同パックを利用することで、装置の校正履歴の証明が必要な臨床検査室向けの品質規格ISO15189の第三者評価取得に活用することができる。

【MTJ (The Medical & Test Journal) 5月11日号から】

ISO15189の認定事業、今秋にもパイロット認定審査

日本臨床検査標準協議会（JCCLS）と日本適合性認定協会（JAB）は4月16日、記者会見を開き、共同で臨床検査室を対象としたISO15189に基づく認定プログラムの開発に着手、今秋にはパイロット認定審査を開始すると発表した。

「上田市小児初期救急センター」がオープン

長野県上田市に「上田市小児初期救急センター」が4月17日オープンした。同センターは、子供たちが健やかに成長しながら安心して暮らせる地域づくりのために、適



切な初期救急医療を提供するもの。2次救急医療については国立病院機構長野病院の連携が得られる。診療は月曜～土曜日の午後8時（受付は午後7時30分）～午後11時。運営は、上田市、小県郡の真田町、丸子町が行う。2004年度中には武石村も加わる。

=====

JACLaP WIRE, No.71 (2004年6月2日発刊)

発行：日本臨床検査専門医会 [情報・出版委員会]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

E-mail：jaclap\_wire@yahoo.co.jp

TEL:045-787-2721

FAX:045-786-0392

日本臨床検査専門医会ホームページ：http://www.jaclap.org/

JACLaP WIRE バックナンバー：

http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP

\*\*\*\*\*

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

\*\*\*\*\*

メーリングリスト配信先の変更には

氏名, 2.現行登録アドレスと3.変更希望メールアドレスを添えて

jaclap\_wire@yahoo.co.jpまで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。

\*\*\*\*\*